

SPIRE でのプリセット 導入方法

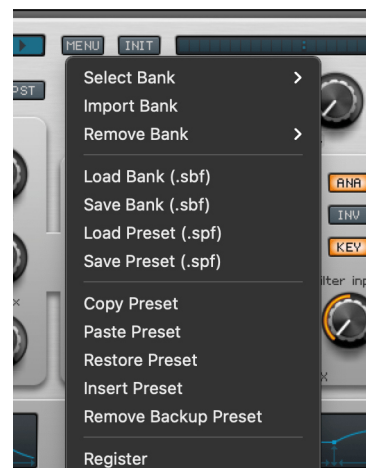
1/2

 CRYPTON
 ©クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

SPIRE には、プリセットバンク形式 (.sbf) と個別のプリセットデータ形式 (.spf) があります。

SPIREのバージョンが 1.5 未満の場合

MENU プルダウン内の Import Bank / Load Bank (.sbf) から、バンク形式のプリセットを読み込むことができます。単一のプリセットデータを読み込む場合は、Load Preset (.spf) や、必要に応じて Insert Preset を使用してください。



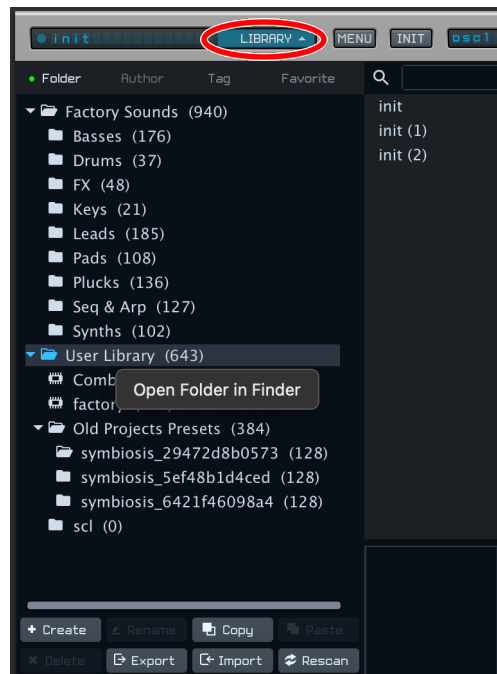
SPIREのバージョンが 1.5 以降の場合

LIBRARY ボタンをクリックしてライブラリ・ウィンドウを開き、User Library 内の適切なフォルダーを選択して、GUI左下部の Import メニューから、バンク (.sbf) またはプリセット (.spf) を読み込みます。

バンクファイルを読み込んだ場合は、 マークが表示されます。

プリセットファイルを読み込んだ場合は、選択されたフォルダー内にプリセットが追加され、右側の欄にリストアップされます（既存のプリセットファイルと混同しないようご注意ください）。

Author や Tag 等の情報が埋め込まれたプリセットを読み込むと、データベースが自動的に更新されます。



SPIRE でのプリセット 導入方法

2/2

©クリプトン・フューチャー・メディア株式会社



バンクファイルやプリセットファイル、マイクロチューニング用のファイル (.scl) は、PC 内の既定のフォルダに保存されます。前ページの図のように User Library フォルダを右クリックして、Open Folder in Finder／Explorerを選択すると、Finder／エクスプローラ上でファイルの追加や削除を行えます。変更を加えた後は、Library ウィンドウに戻って Rescan を行うことで、最新の内容がGUIに反映されます。



- ⚠ なお、日本語名のフォルダを作成／管理することはできますが、画面操作で削除できないなど、誤動作の危険があります。Open Folder in Finder を通じて、不適切なフォルダを削除してください。
- ⚠ Reason Studio 用の ReSpire、NKS 対応の .nks ファイルの使い方についてはメーカーのマニュアルをご確認ください。